

3331 GALLERY #038 3331 ART FAIR recommended artists 牛島光太郎 個展 「モノの居場所に言葉をおいたら、知らない場所までとんでいく」開催



この度アーツ千代田 3331では、3331 ART FAIR 2019でレコメンドアーティストに選出された牛島光太郎による個展を開催いたします。

牛島は、学生時代から道で拾い集めてきたモノや思い出のあるモノを用い、その多くに言葉を組み合わせた作品を制作してきました。時にオーガンジーや刺繍なども用いられる牛島の作品は繊細でありながらどこか親しみやすく、私たちの記憶や想像力を優しく刺激します。それは、モノを日常における意味や機能から離し、それ自体の存在を見出す試みでもあり、現代社会に溢れかえる「モノ」と「言葉」に流されそうな私たちをそっと引き留め、世界を再認識する機会を与えます。

近年、牛島の作品は、モノに秘められた小さな歴史や物語を見いだす行為から一歩進み、手元に集められた多数のモノを「個人史」の集積と捉え、物質的に「保管」する試みへと向かっています。

本展では、牛島が道端で拾い集めてきた約800点の未知のモノを壁に散りばめる《みちのもの》をはじめ、拾ったモノや思い出のあるモノと牛島自身が刺繍で紡ぎ出した文字(言葉)を組み合わせた《意図的な偶然》や、「モノ」と脈略のない「言葉」をつなげた《組み合わせの方法》、そして最新シリーズの《匿名の家》を展示致します。

近年は関西を中心に個展を開催し、東京では「六本木アートナイト」に出展するなど注目を集める牛島。これまでの歩みと新たな試みをご覧いただける貴重な機会となる本展をぜひ広くご周知頂きたく、何卒よろしくお願い致します。

■開催概要

- 展覧会名：3331 GALLERY #038 3331 ART FAIR recommended artists 牛島光太郎 個展
「モノの居場所に言葉をおいたら、知らない場所までとんでいく」
- 会 期：2019年10月19日（土）～11月10日（日） ※会期中無休
- 開場時間：11：00 - 20：00 （最終日は18:30まで）※入場無料
- 会 場：3331 Gallery（〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目11-14 アーツ千代田 3331 1階 104）
- 主 催：3331 Arts Chiyoda
- ウェブサイトURL：https://www.3331.jp

ギャラリートーク&オープニングパーティーを10月19日（土）18:00-20:00に行います。ぜひご参加ください。

■作家プロフィール

牛島 光太郎 (うしじま・こうたろう)

2010年「意図的な偶然」三菱地所アルティウム (福岡)

2014年「イマジネーション・スーパーハイウェイ」京都芸術センター (京都)

2018年「FOCUS」テヅカヤマギャラリー (大阪)

2018年「六本木アートナイト2018」 (東京)

作家HP: <http://www.ushijimakoutarou.com>



■作家ステートメント

「モノ」と「言葉」を組み合わせた作品で構成する展覧会です。

「モノ」は、様々な地域の路上から拾い集めたモノや、個人的に思い入れのあるモノなどです。

「言葉」は、刺繍したり、シールにしたり、手書きで書いたりしています。

大学生の時、彫刻(石彫)を専攻して、いろいろなものをつくってはいたのですが、あまりうまくいきませんでした。同じ時期、小説を書いていたのですが、こちらも、うまくいきませんでした。

研究生を修了して、うまくいかなかった理由や、自分がつくったものや文章が、どのような状態で在るのがいいのかについて考え、試行錯誤しました。

この展覧会では、そのようにして制作した作品と新作を併せて展示します。

牛島 光太郎(アーティスト)

■推薦者によるコメント

2年前、牛島さんと歩いた。展覧会場の最寄駅からの30分くらい。直前に嵐のような大雨が降って道がぬかるんでいた。この日は会場内で彼とトークすることになっていた。でも、どうせなら、駅からスタートしちゃおうとなったのである。告知もしていたがこんな天気だし誰も集まらず、この「歩くトーク」に参加したのは関係者のみだった。ハタから見れば友達どうし数名が普通に「歩いた」だけに見えたと思う。でもそれでいいよという雰囲気、牛島さんらしかった。人は少なかったが、親密さが生まれ、ゆっくり歩いた分、時間もいつもと違って流れた感じがした。特別なことは何もないが「何もない」ということはなかった。それも、牛島さんらしい気がした。いつもよりも空気が澄んでいた。嵐は彼が呼んだのかもかもしれない。

福永 信 (小説家)

【推薦者プロフィール】

福永 信 (ふくなが・しん)

1972年生まれ。小説家。著書に『アクロバット前夜』『星座から見た地球』『————』など。2017年に牛島光太郎が参加したグループ展「アンキャッチャブル・ストーリー」(企画・武本彩子)でトークゲスト。駅から会場の瑞雲庵まで牛島と歩く「そぞろ歩き編」と会場内でトークする「瑞雲庵編(対談)」の2本だて。

■関連イベント

アーツ千代田 3331での初個展を記念し、会期初日となる10月19日(土)に、作家本人によるギャラリートークとレセプションパーティーを行います。

牛島の制作に対する思い、作品に込められた意味とは? 近年活躍めざましい注目のアーティスト本人からお話させていただきます。またギャラリートークのみ11月3日(日)にも行いますので、是非こちらもご参加ください。

【イベント日程】

10月19日(土) 18:00~20:00 *入場無料/申込不要(お時間になりましたら展示会場までお越し下さい。)
ギャラリートーク & レセプションパーティー

11月3日(日) 14:00~14:30 *入場無料/申込不要(お時間になりましたら展示会場までお越し下さい。)
ギャラリートーク

■ご提供画像

下の画像を広報画像としてご提供いたします。

ご希望の方は、ご希望の画像にチェックし必要事項をご記入の上、リリース下部に記載の宛先までメールまたは FAX くださいますよう、お願いいたします。

- お願い：1. 恐れ入りますが、掲載誌一部をご送付いただきますようお願いいたします。
2. クレジット表記は画像の下にあるものを表記願います。
3. ご取材の際は事前に担当者までご一報くださいますようお願いいたします。

貴媒体名

掲載号 発売日／放映日 年 月 日

貴社名 ご担当者様

TEL FAX

E - MAIL

資料お届け期限 月 日まで



《意図的な偶然-13》2009年
©Kyoto Art Center,
photo by Tomas Svab



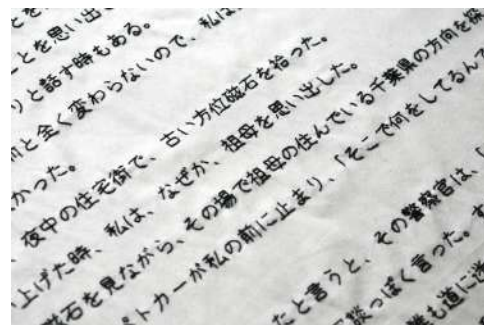
《みちのもの》2011年
成安造形大学・スペースギャラリー(滋賀)



《意図的な偶然-17-21》2009年
京都芸術センター(京都)
©Kyoto Art Center, photo by Tomas Svab



《意図的な偶然-5》2008年



《意図的な偶然-6》2009年